

## 新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。八女福島仏壇仏具協同組合を代表いたしまして皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

お仏壇そのものに対する価値観や必要性を感じない世代が増加するこの時代に、後継者不足や材料の高騰など私たちを取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。現実的に八女福島仏壇にも厳しい淘汰が目前に迫ってきているように思われます。

だからこそ今、「どうしてお仏壇に手をあわせるのか」を問いかける必要があるのではないかと考えています。人間はつい目に見えるモノにとらわれがちですが、本当に大切なものは目に見えないものかもしれません。友情や家族との絆やよろこび、そして命の大切さなど目に見えないけど大切なものを皆さまの心の中で育てていただく事の重要性を伝えていきたいと考えています。

2016年も引き続き色々な事業をとおしてお仏壇の必要性を問いかけていきたいと思っています。内容としましては小学校での仏壇製作体験やアクロス福岡、地元八女伝統工芸館で行う展示会事業や仏壇供養祭、年末の日本一の大型仏壇すす払い、そして補助金事業への積極的な取組み等です。特に展示会事業は各店舗が伝統的工芸品の製作に取り組むことにより少しでも地場職人への仕事注文の減少に歯止めがかかればと思っています。個別の足の引っ張り合いではなく「仏壇の産地・八女」として力を合わせて、本組合以外の競合各社と切磋琢磨し、結果的にはお客様に「八女に来て仏壇を求めて良かった」と喜んでいただきたいと思っています。

最後になりましたが、仏壇という手を合わす心の拠りどころを生業(なりわい)にしている者として真摯に向き合って頑張っていく所存でございますので宜しく願い申し上げます。

八女福島仏壇仏具協同組合  
理事長 鶴 信行